

地域医療

あがの市かわら版

第 14

新潟大学医学部

「健康講座塾」が

始まりました!!

阿賀野市では、市民総活躍のまちづくり事業として、暮らしの中に塾・塾のコンビニ!!に取り組んでいます。当市の総合戦略の一つである「健康寿命日本一のまちづくり」を目指すため、早急に取り組みが必要な阿賀野市の健康課題に対し、新潟大学医学部の教授を講師にお願いしました。

6月からは5回シリーズ



遠藤教授による健康講座



理学療法士による実践風景

で、新潟大学医歯学総合研究科整形外科学教室の遠藤直人教授から講師をお引き受けいただいています。第1回目は約90人が集まり、わかりやすいお話に、次回も参加したいという声が多く寄せられました。また、あがの市民病院の理学療法士からの実践指導も行いました。

来年2月まで、各科教授の方々からご協力をいただき、順次「塾」を開催してまいります。



阿賀野市瓢湖（ひょうこ）のあやめ

発行：阿賀野市 民生部 地域医療推進課
平成28年6月30日
TEL 0250-61-2503（直通）
FAX 0250-62-0281
E-mail: chiikiiry@city.agano.niigata.jp

多職種研修会での発案が
地域を結ぶツールに!

多職種研修会は、阿賀野市内の開業医、病院医師、歯科医師、薬剤師、看護師、訪問看護、ケアマネージャー、ヘルパー、特養職員などが、毎回100人以上が参加し、連携を深めています。研修会は平成26年度から始まり、今まで6回開催されました。



阿賀野市居宅ケアマネ連絡協議会

それを受けて、市では医師会阿賀野支部の協力を得て、ICTの導入も視野に入れた様式の作成に取り掛かりました。

その後、あがの市民病院地域医療・連携センター職員と阿賀野市居宅介護支援専門員協議会の代表との打合せを重ね、モデル的に使用し、修正を加え、6



あがの市民病院5階から撮影

今年の4月末までに、水原郷病院の解体工事は全て終了し、5月の大型連休明けから外構工事に着手しました。敷地全体が、病院正面玄関に向かつて緩やかに盛土され、災害時の浸水リスクに対応したほか、外周路と駐車場内の多くは、消雪パイプが設置され、冬場でも安心です。駐車場は新たに約320台分のスペースを確保し、これらは一部を残して8月末までに完成する予定です。

あがの市民病院駐車場を旧病院跡地に整備

月、医療と介護の連携シートが完成しました。

あがの市民病院を退院し、主治医が病院から市内の開業医に代わる場合は、病院から紹介状と一緒に連携シートも送付します。ケアマネージャーは退院時情報を介護保険サービス提供事業所に情報提供しますので、利用者を中心に同じ情報を関係者で共有することができそうです。

7月からの完全実施に向けて、阿賀野市居宅ケアマネ連絡会に説明を行いました。この様式を通して、関係者が連携を深め、阿賀野市スタイルの包括ケアシステムを目指していきます。

阿賀野市の10年後の医療と介護の将来像を見据え、ICTの導入が必須となります。



2回目のICTデモンストレーション

6月29日（水）には、新発田北蒲医師会阿賀野支部、居宅ケアマネ、歯科医師会のそれぞれの代表者と参加希望者、行政関係課を対象に、2回目のICTデモンストレーションを行いました。いかにICTで情報を共有できるか、各事業所で使っているシステムとの関連等、具体的な質問が多く出されていました。